



「賃金アンケート」集約結果

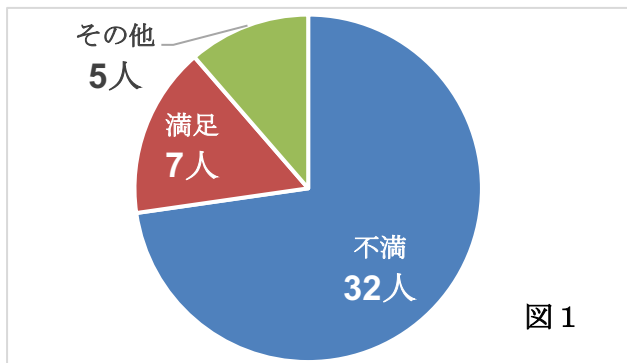
基本給「7割の人が不満」 年末手当「昨年回答水準の支給を」

東京地本は、2020年9月10日から18日に全組合員を対象に「賃金アンケート」を実施しました。短期間の取り組みにもかかわらず44名（71%）の組合員から回答をいただきました。（※嘱託組合員と9月10月にエルダー終了する組合員には送付していません）

アンケート結果についてお知らせします。

回答者の年齢構成は、現職組合員とエルダー組合員がそれぞれ半数の22名ずつでした。

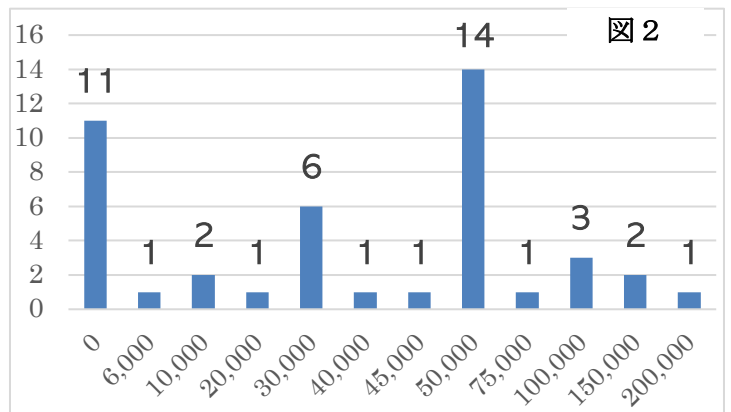
基本給について



「あなたの現在の基本給についてどのように感じていますか」という問いに対して、実に70%を超える方が「不満」と答えています。一方、「満足」と答えた方も16%いました。

図2は「不満」と答えた方に、「あと最低限どれくらい必要か」たずねた結果です。幅を持った

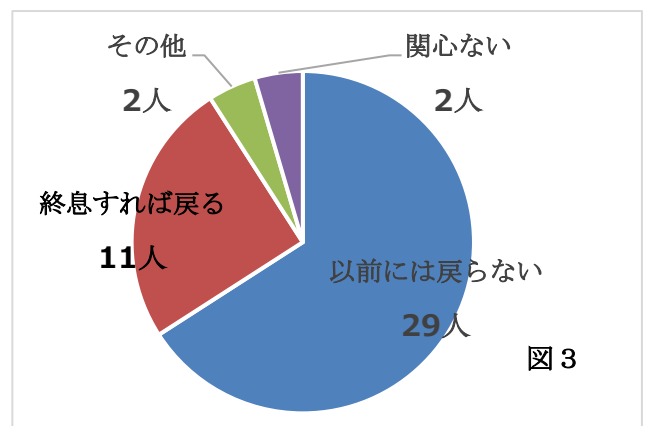
回答は中間値を採用しています。また、図1で金額の回答のない「満足」「その他」は“0円”としています。30,000円と50,000円が突出していることが分かります。



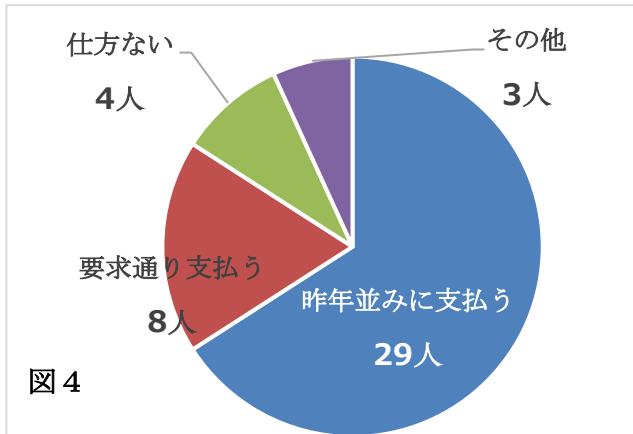
第1四半期決算について

年末手当について聞く前に、会社発足以来の赤字決算となった「第一四半期決算」についての感想を伺いました。（図3）

66%にあたる29の方が「コロナが終息しても以前のように戻らない」という厳しい認識を持っていることがわかりました。



夏季手当について



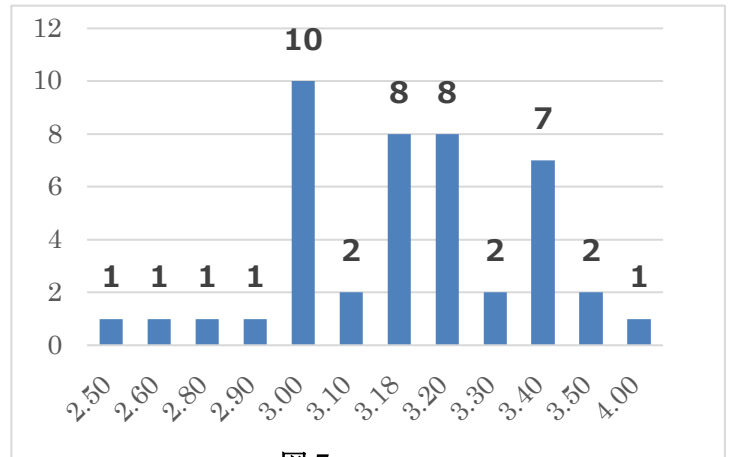
次に、第1四半期決算を受けて昨年から大きく減額された夏季手当についての感想を伺いました。

66%の方が「昨年並みには支払うべき」と回答しました。この数年間「増収・増益」を続けながら、期末手当を増額しなかった会社に対する厳しい姿勢が明らかになりました。（図4）

年末手当要求は？

最後に今年度の年末手当要求について伺いました。（図5）

結果は3.0ヶ月が最も多く、続いて3.18、3.20と昨年の支給実績の3.18ヶ月を念頭においた回答が多くをしめました。



現職とエルダーでは？

現職組合員とエルダー組合員では、基本給が大きく違ってきます。そこで年齢と基本給要求・年末手当要求の関係を見てみました。（図6）なお、要求については全て平均です。

基本給について、エルダー組合員の多くが不満を持っていることが分かります。一方、年末手当については、各年代でそれほど大きな開きはなく、会社の経営に大きな問題意識を持っていることがうかがえます。

アンケートでは「新型コロナウイルス」関連の意見も多くいただきました。紙面の都合で載せることは出来ませんが、皆さんの不安解消に向け取り組んでいきます。

年齢	基本給要求	年末手当要求
40代	5,000円	2.70ヶ月
50代	22,800円	3.13ヶ月
60代	64,545円	3.25ヶ月
総計	42,864円	3.17ヶ月

図6

組合員の皆さん
ご協力ありがとうございました

東京地本第9回定期大会

日時 2020年12月12日（土）13時開会
場所 南部労政会館（JR大崎駅下車）
参加者 各分会・協議会代表者
その他 委任状を取り組みます。ご協力をお願いします。

